

新美南吉生誕110年記念 半田・安城連続レクチャー&コンサート

音楽でたどる新美南吉の生涯

〈出演者プロフィール〉



レクチャー・ピアノ 加藤希央 Kio Kato

半田篇 安城篇

演奏と音楽学研究及び芸術教育の領域で活動する。ピアニストとしては愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコース卒業。ロンドン・マスタークラス・ディプロマ取得。ローマ夏期国際音楽祭2005出演。東京及び名古屋にてソロ・リサイタル開催。文学的、絵画的背景を持つ作品をテーマに、国内外のコンサートに出演する。音楽学では愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程(音楽学領域)修了。優秀学生賞、長久手市長賞受賞。第13回日本修士論文賞佳作選出。その他、教育機関へのアウトリーチ活動や、児童芸術教育関連の社会的活動にも従事する。現在、名古屋経営短期大学子ども学科特任講師。



ヴァイオリン 矢口十詩子 Toshiko Yaguchi

半田篇

名古屋市立菊里高等学校音楽科、桐明学園大学音楽学部器楽科弦楽器専攻卒業、同研究科修了。1999年、アフィニス文化財団より奨学金を得てロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックに留学。ディプロマを取得。2001年に帰国リサイタルを開催、読売新聞にて「名古屋地区における貴重なヴァイオリニストである。」と評される。2005年、名古屋市民芸術祭2005審査員特別賞を受賞。名古屋フィルハーモニー交響楽団2ndヴァイオリン首席を経て現在アシスタントコンサートマスターを務める。菊里高等学校音楽科非常勤講師。



ソプラノ 高居洋子 Yoko Takai

半田篇

新美南吉の故郷半田市岩滑に生まれる。東京音楽大学声楽専攻オペラ科卒業及び同大学研究科修了。没後200年記念国際モーツァルトコンクール派遣審査会入選・中部読売新人演奏会・現存の音楽展・二期会サロンコンサートなどの他、青山劇場「龍の子太郎」・NHKホール「漂泊者のアリア」・「龍馬」お元役・劇団四季「ノートルダムの鐘」クワイヤ・「オペラ座の怪人」カルロッタ役などミュージカルにも出演。録音はMALICE MIZER「地下水脈の迷宮」TBSアニメ「忘却の旋律」「ソプラノが記憶する」森 悠也作曲「背徳のサクラ」など。2013年二期会Liebesliederのメンバーと共に南吉生誕100年を祝うコンサートを企画。その後も作曲家真島圭氏に依頼し、新美南吉の詩や童謡を音楽で広めるための活動もしている。2015年より度々渡伊。Alberto Cupido、黒田安紀子、林ひろみ、高橋大海各氏に師事。二期会会員、二期会英語の歌研究会、日本声楽アカデミー会員。



ソプラノ 佐地多美 Tami Saji

安城篇

武蔵野音楽大学大学院修了。大学で音楽教育に携わる。リサイタル35回、ジョイント・リサイタル14回開催。NHK・FMに出演。名古屋マンドリン・オーケストラ海外公演や各合唱団で宗教曲のソリストを務める。少人数の声楽アンサンブルの代表として、バロックの演奏会10回、日本歌曲連続演奏会を東京と名古屋で15回、音楽とお話によるチャリティーコンサートを名古屋と安城で各20回開催。安城市少年少女合唱団の創設や、教育現場での指導等、生涯教育に係わる。H3年度名古屋市民芸術奨励賞、H26年度愛知県合唱連盟覇井賞、H28年度安城文化協会特別表彰、H29年度名古屋音楽ペンクラブ賞受賞。現在、名古屋女子大学名誉教授、愛知芸術文化協会理事、愛知日本歌曲研究会代表等。



チェロ 山田真吾 Shingo Yamada

安城篇

才能教育研究会でチェロを始め、ハンガリー国立リト音楽院修了。第14回ブルクハルト国際音楽コンクール弦楽器部門第2位(最高位)。第2回東京サミット音楽コンクールグランドファイナル銀賞。第22回ヨーロッパ音楽コンクール弦楽器部門第3位(イタリア)他国内外のコンクールに入賞。ブダペスト、香港、東京、名古屋、岐阜でリサイタルを開催。日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズにて円光寺雅彦指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演した他、セントラル愛知交響楽団、香港ベルカントオーケストラ、オーケストラ・ヴィルトゥオーシNagoya等と協奏曲を共演。現在ソロ、室内楽奏者として活動する一方、オーケストラの客演首席奏者も務める。岐阜市在住、岐阜大学工学部卒業、令和3年度岐阜県芸術文化奨励賞受賞。

写真でたどる新美南吉



中学卒業
アルバムより



半田中学卒業記念写真



稚孤(ごんぎつね)を
書いた頃



明治神宮で



岩津天神への
遠足で
生徒たちと



安城時代